



まんだらげ



患者さまの権利

1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。

2 医療について十分な説明を受ける権利

ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。

3 自分が受ける医療を自ら決定する権利

納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。

4 医療について情報提供を受ける権利

自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。

5 個人情報やプライバシーが守られる権利

医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります。

片男波（和歌山市）

CONTENTS

- 新任のごあいさつ／岡村吉隆 病院長
井篁 一彦 産科・婦人科教授
- 病棟だより／10階西病棟
- くるーずあっぷ／電子カルテ導入
- お役立ちメモ／がん患者サロン「わ」
- 栄養ワンポイントアドバイス／枝豆とひじきの夏サラダ
- お薬の豆知識／水虫

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華（まんだらげ）」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

- 4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめる、その成果を反映した医療を行います。
- 1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のかもった医療を行います。

基本方針

理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

新任のごあいさつ

県民のみなさまのために 地域医療の向上に貢献します



病院長
岡村 吉隆

今年4月、和歌山県立医科大学附属病院・病院長に就任いたしました。当附属病院は、県内唯一の大学病院として、最先端の高度医療を安心して県民のみなさまにご提供し、また教育基幹病院として専門技術を持った医師及び医療人を育成することを使命としております。

今年5月から電子カルテを導入し、検査や投薬、診療情報など各種データの電子化を行い、診療機能の充実を図っているところです。

また、これまでドクターヘリを導入するなど救急医療の向上に力を注いできましたが、今後も多様なニーズに対応するため、経過観察を要する救急搬送患者さまのための観察室の充実・整備を進めるなど、救急外来機能の強化を図って参ります。

さらに、地域の医療機関を総合的に支援するセンターや周産期医療センターの拡充など、診療体制の充実を図り、職員一丸となって、より一層地域医療の向上に取り組んで参ります。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

県内の母子医療の中核施設 婦人科・産科の高度医療を提供



産科・婦人科 教授
いのう
井 篁 一彦

今年4月、和歌山県立医科大学の教授に就任致しました。専門は、子宮けいがん、子宮体がん、卵巣がん、絨毛性疾患など、婦人科腫瘍学です。

当院は県内唯一の大学病院ですので、「がん難民をつくらない、お産難民をつくらない」をモットーに、高次の医療を婦人科腫瘍分野と産科分野の両方で、県民のみなさまのために充実させていく意向です。

総合周産期母子医療センターも整備されていますので、院内の新生児科の先生と協力し、また地域の病院や診療所の先生方と連携し、県内の母子医療の中核施設として救急医療の向上をめざします。

さらに、研修医、学生、若手医師の教育にも力を注ぎ、マンパワーを向上させつつ、独自の研究を展開し、和歌山から全国に発信できるような研究業績を挙げていきたいと考えております。

病棟だより

常に患者さんに寄り添い 心が通じ合える看護をモットーに

10階西病棟は、眼科36床と皮膚科14床の全50床です。看護スタッフは25名。患者さんと心が通じ合えることが、仕事の大きなやりがいです。「人に寄り添う気持ちを大切に」をモットーに、常に患者さんの思いを聞き理解し、共に考える姿勢を大切にしています。また、患者さんが元気に退院されたときは看護チームとしてもその喜びを分かち合っています。

安全に安心して治療が受けられ、個々のQOLに応じて退院後も不安なく生活ができるように、スタッフ一丸となって取り組んでいます。



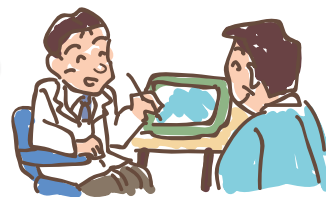
ぐるーずあっが

医療の安全とサービスの向上をめざし 電子カルテシステム導入

当院では医療の安全性を強化し、患者さまへのサービスと医療の質などを向上させることを基本方針に、今年5月から「電子カルテシステム」を導入しました。

電子カルテシステムにより院内の情報共有が進み、安全かつ迅速なチーム医療の提供を実現していきます。患者さまごとの情報は集約管理されるため、より安全確実な診療が可能となります。

電子カルテ 導入の手引



新システム稼働後、円滑に診療を行えるよう細心の注意をはらっておりますが、来院される皆さまに待ち時間の延長などご迷惑をおかけすることがございます。

また、診察室におきまして、個人情報保護に十分留意したうえで、電子カルテシステム担当者が同席する場合がございますので、予めご了承願います。

お役立ちメモ

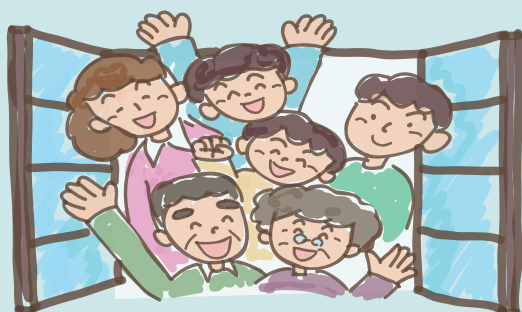
がん患者サロン「わ」開催 わかり合える、語り合える、支え合える

がん患者さんやご家族が、病気の悩みや心の悩み、体験等を語り合える場として、がん患者サロン「わ」を毎月第3木曜日、午後3時～午後4時に院内2階相談室(右下地図参照)で開催します。

サロン名の「わ」とは、人をつなぐ「輪」、また和みの「和」、和歌山の「和」、そして患者さまがつながり和める場として「わ」をネーミングしました。

患者さん同士で悩みや思いを話すことで、落ち込んでいた気持ちが前向きに変わっていきます。患者という立場だからこそ、共有できること、理解しあえることがたくさんあります。お茶でも飲みながら気軽にいろんな話をしませんか。

【対象】当院へ外来通院および入院中のがん患者(家族も同席できます)。サポート役として、がん相談支援センタースタッフ、がん専門看護師が同席します。



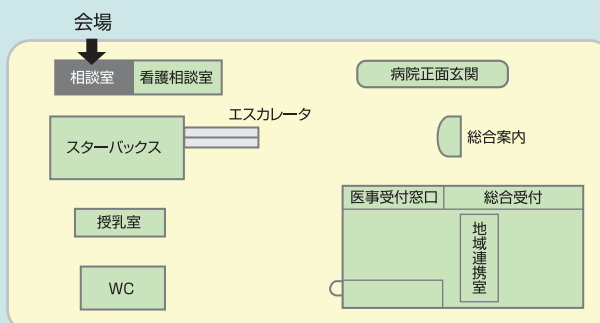
開催日(毎週第3木曜日)

平成22年	平成23年
6月17日(木)	1月20日(木)
7月15日(木)	2月17日(木)
8月19日(木)	3月17日(木)
9月16日(木)	
10月21日(木)	◎時間は各日とも 午後3時～午後4時
11月18日(木)	
12月16日(木)	

※会場の都合により事前申し込みが必要。

【問い合わせ・申し込み】

和歌山県立医科大学附属病院
地域連携室内がん相談支援センター
TEL073-441-0778





栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

今回はビールの定番

『枝豆』について紹介します。

枝豆にはエネルギー代謝を促進するビタミンB₁が含まれており、夏バテの予防・回復にぴったりです。茹でるだけでもおいしく頂けますが、ちょっとひと手間加えてサラダにしてみてもはいかがでしょうか。

○枝豆とひじきの夏サラダ 材料(1人分)

枝豆・・・40g プチトマト・・・10g(1個)
ひじき(水戻し)・・・40g 和風ドレッシング・・・小さじ1.5杯
みょうが・・・3g(1/4個)

○作り方

ひじきをさっと湯通しし、水気を切る。枝豆を茹でてさやから出す。みょうがを粗みじん切りにする。材料をドレッシングで和えて盛り付け、プチトマトを添える。

お好みでツナ等を加えても良いでしょう。

- ・エネルギー 77kcal
- ・たんぱく質 6.1g
- ・脂質 2.6g
- ・炭水化物 11.1g
- ・ナトリウム 344mg(0.9g)
(食塩相当量)
- ・ビタミンB₁ 0.17mg



お薬の豆知識

シリーズ⑫
「水虫」

～薬剤部から～

水虫は白癬菌(はくせんきん)が原因とされ、発症する部位によって名称が異なります。足の裏など角質層の厚い部分は薬の成分が浸透しにくいいため、塗り薬(外用薬)だけでなく、飲み薬(内服薬)が必要なこともあります。かゆみが治まると治療をやめてしまいがちですが、それでは角質層の深いところに住みついている菌は絶滅しません。しばらくは根気よく欠かさず治療を続けましょう。水虫は皮膚病なので、皮膚科の専門医で検査を受け効果的な治療を行うことが大切です。

◎お見舞い用の花の持ち込みは ご遠慮ください

当院では、お見舞い用の花の病室への持ち込みをご遠慮いただいています。対象は生花、鉢植え、ドライフラワーです。

花瓶の中で増殖した水にふれることによる感染や花粉のアレルギーを避けるためです。また、花のにおいが気になる患者さまもいらっしゃいます。現在、花の持ち込みによる感染は確認されていませんが、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

【最新の医療カンファランス】

場所：和歌山県立医科大学 図書館棟3階
(生涯研修・地域医療支援センター研修室)

定員：100人 参加無料

■6月10日(木) 14:00～16:00

・ロコモティブシンドローム(運動器症候群)について
講師：医大・整形外科学教室 山田 宏(やまだひろし)

・「運動器不安定症を来たす各種脊椎疾患について」
～骨粗鬆症を中心に～

講師：医大・整形外科学教室 筒井俊二(つついしゅんじ)

■7月8日(木) 15:00～17:00「生活習慣病と食事」

・生活習慣病と食事のふかーい関係

講師：医大・病態栄養治療学講座 西 理宏(にしまさひろ)

・生活習慣病を防ぐかしていダイエット

講師：医大・病態栄養治療部 尾崎 文(おざきあや)

問：TEL 073-441-0789

和歌山県立医科大学生涯研修地域医療支援センター

お知らせ

和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.13〉

2010年6月発行

発行／和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ごみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は
9月です。